



-CONTENTS-

日本版 SOX 法
2006 年度情報監査シンポジウム in Winter
PCサーバ新商品発売のお知らせ
知っ得！～Excel&Word マメ知識～
パーソナル複写機ミニコピア発売のお知らせ

暖冬が続き、例年より花粉の飛散が早まったようです。花粉症の方には辛い季節の到来ですね。しかし、桜の開花が早まるのでは？との予測もあり、春の足音が聞こえてまいりました。さて今回は法規制も含む、政府のIT施策に触れてみました。

日本版 SOX 法

今回は今話題の日本版 SOX 法についてご紹介します。

日本版 SOX 法ってなに？

企業による相次ぐ粉飾決算事件から、日本でも米国 SOX 法と同等の法整備の必要性が出てきました。そこで登場したのが日本版 SOX 法です。

日本版 SOX 法は、会計監査制度の充実と企業の内部統制強化を求める日本の法規制です。

2006 年 6 月 7 日、「金融商品取引法」が成立し、企業の内部統制評価を求める「日本版 SOX 法」を含む実施基準草案が公開されました。

対象となる企業は上場企業(約 80,000 社)ですが、これらの企業と取引をする場合は対応する必要がありますので、上場・非上場に関わらず、今後すべての企業が社会的責任を十分果たしていくために急務であると考えられます。

施行予定は 2009 年 3 月決算期からで、企業の会計不祥事やコンプライアンス欠如などの防止を目指しています。

～ちょっとマメ知識～

SOX 法とは、アメリカにおける企業会計や財務報告に関する法律です。法案を連名で提出したポール・サーベンス上院議員とマイケル・G・オクスリー下院議員の名前にちなんで「サーベンス・オクスリー法」、略して SOX 法とされています。



どんなシステムが対象になるの？

財務会計システムだけでなく、そこに流れるデータに関わるすべてのシステムが対象となります。

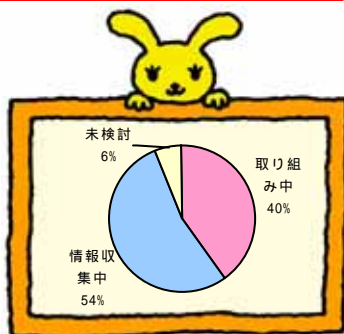
日本版 SOX 法では、重要な業務(取扱額が大きいなど)を優先するため、対象範囲の絞込みをする可能性があります。

対象となる可能性のある情報システムの例

- ・ 財務会計システム
- ・ 人事給与システム
- ・ 生産管理システム
- ・ 購買管理システム
- ・ 販売管理システム
- ・ 固定資産税システム

企業の日本版 SOX 法への対応状況は？

NECの調べによると、「現在取り組み中」、もしくは「情報収集」に大きくは二分され、「情報収集」の企業も各種セミナーへの出席やイベント参加などを行っており、基準草案公開に伴いこれからも活動は本格化しそうです。



どうやって対応すればいいの？

内部統制への対応には、人間系、IT系の両方から統制をかけて、リスクの低減を図る必要があります。

内部統制監査にともなう業務負荷を低減するため、業務アプリケーション/ITインフラ内にそれぞれ内部統制支援ソフトウェアを適用することが必要となってくると思われます。

NECでは内部統制強化に最適な内部統制支援ソフトウェアを用意しています。

2006 年度 情報監査シンポジウム in Winter

2007 年 1 月 31 日(水)に東京で 2006 年度 情報監査シンポジウム in Winter が開催されました。

これは、経済産業省と特定非営利活動法人日本セキュリティ監査協会(当社も加盟)が、主催するもので、「情報セキュリティ監査制度」の一層の普及・啓発を目的に行われています。

SOX法対応のIT統制のなかでは、情報セキュリティが重視されています。これは、情報資産に対するアクセス制御や情報の完全性を保証するのは、情報セキュリティの役割と考えられているからです。

政府は毎年 2 月 2 日を「情報セキュリティの日」として、情報セキュリティ問題に対する機能・体制の強化を整備しています。

2月2日

情報
セキュリティ
の日

PC・サーバ新商品発売のお知らせ

処理性能を向上をさせつつ、低消費電力も実現させたマルチコア CPU 搭載の PC 及びサーバの新モデルが NEC より発売されました。



マルチコア CPU ってなに？

従来のクロックアップにより性能向上を図る技術が、クロックアップに伴う消費電力増大により性能向上が限界になりつつあります。そこで現在主流となってきているのが、マルチコア化です。

マルチコアプロセッサというのは、1つのCPUプロセッサに複数のCPUコアを搭載して性能向上を図る技術です。消費電力についても、従来のシングルコアでの同性能においては、低消費電力での運用が可能となります。

最近の利用形態では、マルチスレッド対応のアプリケーションや、複数アプリケーションを実行させる環境(ウイルスソフトウェア&業務AP等)が増えつつあり、今後ますますマルチコア化が拡大していくことが予測されます。



書式だけをコピーしたい！

表を作成していて、同じ書式を何箇所にも設定したい場合、毎回設定するのは手間がかかりますよね。

Excel や Word には書式だけをコピーして貼り付けるという便利なボタンがあります。

案外知られていないこのボタンですが、1度覚えるととても重宝しますので、ぜひお試しください。

Operation



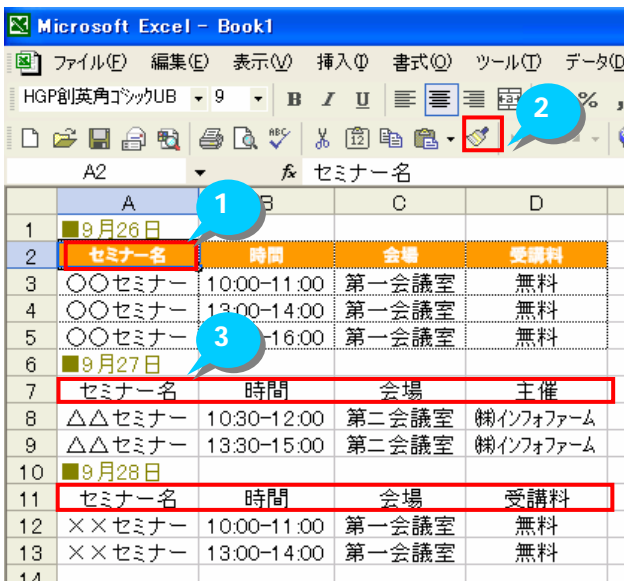


1. コピーしたい範囲を選択します。  -1
2.  (書式のコピー/貼り付けボタン) をクリックします。
3. 貼り付けたい範囲をドラッグします。

図-1



同じ書式を2箇所以上に貼り付けたい時は、 をダブルクリックすると、連続して貼り付けることができますよ。貼り付けをやめたい時は、 をもう一度クリックするか、ESC キーを押してね。

パーソナル複写機ミニコピア発売のお知らせ

デジタルエンジンを搭載したパーソナル複写機ミニコピア『DPC990/DPC960』が2月22日(木)にキヤノンより発売されました。



特長

- シリーズ初となるデジタルエンジンを搭載しているので、解像度 600dpi のきれいな画質のコピーが可能です。
- A4 毎分 22 枚の高速コピーで、大量のコピーにもゆとりのある対応が可能です。
- 両面印刷機能を標準装備しているので、コストを削減しながらムダのないビジネス文書の作成を可能にします。

使い方いろいろ。

うちの病院では・・・

保険証のコピーに活躍中、受付の中の狭いスペースにも置いて、さっとその場でコピー、患者様をお待たせしません。



うちの事務所では・・・

社内資料作成に活躍中、資料や伝票整理にかかせません、とにかく速いから急ぎの資料でも安心、両面コピーはコスト削減にも。



うちの店では・・・

店内の POP 作りに活躍中、カラー用紙を使って、POP やチラシを作っています、店の雰囲気がグッと明るくなりました。メンテナンスもカンタンでいいね。



お客様の「もっと！」にお応えします。

紙のムダをなくして、コストを削減したい。

紙をムダなく使うには、表にも裏にもコピーできる両面コピーがオススメです。2枚の書類を表・裏にコピーして1枚の書類にまとめることができます。紙の節約はもちろん、書類の保存スペースまで節約できます。

新聞ってなかなかキレイにコピーがとれなくて・・・

そんな時は、自動濃度調整機能(AE機構)におまかせ。新聞のように紙に地色がついている場合でも、自動で読みやすく調整してコピーすることができます。オリジナルのスクラップブックもグッと読みやすく！

とにかく速くコピーしたい！紙の補充も面倒だなあ。

A4 毎分 22 枚のコピースピード。給紙は標準カセット 550 枚、手差しトレイ 110 枚、合計 660 枚の大容量給紙が可能。コピー時の待ち時間も、給紙にもストレスを感じません。

